



家畜保健衛生所だより



R8.1.5

北海道・埼玉県・宮崎県で高病原性鳥インフルエンザ発生！ (国内 11～13 例目)

12月29日以降、北海道、埼玉県及び宮崎県において、高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の疑似患畜が3事例確認されました。今シーズンの発生は9道府県 13 事例、殺処分羽数は約390 万羽となり、昨シーズンの同時期の処分羽数を超えました。

例年、1月が本病のトップシーズンとなります。昨シーズンは1月だけで 34 事例発生し、648 万羽が殺処分となっています。

飼養衛生管理について見直し、農場内にウイルスを侵入させないようにしましょう。

	発生年月日	農場所在地	飼養状況
11 例目 (北海道 3)	R7.12.29	北海道由仁町	約 0.6 万羽 (採卵鶏)
12 例目 (埼玉 1)	R7.12.30	埼玉県嵐山町	約 24 万羽 (採卵鶏)
13 例目 (宮崎 2)	R8.1.2	宮崎県延岡市	約 0.6 万羽 (肉用種鶏)

※国内野鳥における HPAI ウィルス陽性の確認件数:1道10 県 64 件(R7.12.31 時点)

<再度の確認をお願いします>

野生動物対策(野生動物が来ない・家きん舎内に入らない環境づくり)

防鳥ネットの点検及び修繕、壁の穴や隙間対策

餌こぼれの清掃、廃棄卵等の適切な処理、整理整頓

農場外の関係者を含めた飼養衛生管理の徹底

例外なき 靴・衣服の交換や、消毒の徹底

家きん舎ごとの専用手袋の使用(使い捨てまたは専用手袋の交換・洗浄・消毒)

※ 鶏糞や死体搬出のため裏口から出入りする場合にも消毒・長靴交換を！



鶏の健康観察(異状の有無の確認)を毎日数回行い、元気消失やうずくまりなど通常と異なる症状を発見した場合や死亡羽数がいつもの2倍以上になった場合には、速やかに家畜保健衛生所に通報をお願いします。

中予家畜保健衛生所

電話 089-990-1333

090-6282-6129 (休日・夜間)